

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月24日

計画の名称	島内、各離島間、県本土・県際間の連携強化により人・物が活発に行き交う快適で活力ある奄美地域の形成に資する港湾の整備（地域活性化）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	鹿児島県, 瀬戸内町, 宇検村, 喜界町											
計画の目標	・主要な港湾において定期船等が安全・確実に接岸できる施設整備を進め、奄美群島内外との交流・連携の促進による交流人口の拡大により、豊かな自然や独特の伝統文化、癒しの地域としての特性を發揮できる地域を形成する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	9,401	A	9,401	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	・生活航路である定期船等が接岸する岸壁の荷役稼働率を97.5%以上とする。【港湾の安全性・利便性の向上】 港湾の安全性・利便性の向上 各港の定期船等の利用する岸壁のうち、技術基準（荷役稼働率97.5%以上）を満足する岸壁数	0岸壁	1岸壁	1岸壁
2	・加計呂麻島の鉱産物等を安全に取り扱える岸壁を整備する。【港湾の安全性・利便性の向上】 港湾の安全性・利便性の向上 加計呂麻島の鉱産物等専用岸壁	0岸壁	0岸壁	1岸壁
3	・奄美各港において防波堤の整備により異常時に避難係留可能な係船岸の増加を図る。【小型船だまりの整備】 小型船だまりの整備 異常時に安全に係留できる船隻数	24隻	72隻	72隻

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	-	防波堤(南)	延長 L=180m	古仁屋港・須手地区						140	-	
	A02-002	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	-	防波堤(沖)	延長 L=600m	湾港・湾地区						2,713	-	
	A02-003	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	-	防波堤(沖)(南)	延長 L=300m	亀徳港・亀徳地区						4,093	-	
	A02-004	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	地方	-	岸壁(-5.5m)	水深 D=5.5m, 延長 L=100m	加計呂麻港・俵地区						440	-	
	A02-005	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	地方	-	道路	幅員 B=7.0m, 延長 L=85m	加計呂麻港・俵地区						20	-	
	A02-006	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	地方	-	港湾施設用地	面積 A=3,020m ²	加計呂麻港・俵地区						123	-	
	A02-007	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	地方	-	道路	幅員 B=5.5m, 延長 L=200m	加計呂麻港・俵地区						24	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-008	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	地方	-	泊地(-5.5m)	水深 D=5.5m, 面積 A=6,500 ㎡	加計呂麻港・俵 地区						72	-	
	A02-009	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	地方	-	防波堤	延長 L=60m	加計呂麻港・瀬 武地区						40	-	
	A02-010	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	地方	-	護岸(防波)	延長 L=49m	加計呂麻港・瀬 武地区						22	-	
	A02-011	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	地方	-	物揚場(-2.0m)	水深 D=2.0m, 延長 L=50m	加計呂麻港・瀬 武地区						52	-	
	A02-012	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	地方	-	港湾施設用地	面積 A=1,000㎡	加計呂麻港・瀬 武地区						1	-	
	A02-013	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	地方	-	道路	幅員 D=5.0m, 延長 L=30m	加計呂麻港・瀬 武地区						19	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-014	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	地方	-	船揚場	延長 L=20m	加計呂麻港・瀬武地区						39	-	
	A02-015	港湾	奄美	宇検村	直接	宇検村	地方	-	船揚場	幅員 W=24.3m	湯湾港・湯湾地区						98	-	
	A02-016	港湾	奄美	宇検村	直接	宇検村	地方	-	泊地(-3.0m)	水深 D=3.0m, 面積 A=470m ²	湯湾港・湯湾地区						8	-	
	A02-017	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	地方	-	防波堤(沖)	延長 L=60m	喜界島港・志戸桶地区						85	-	
	A02-018	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	地方	-	物揚場(-2.0m)	水深 D=2.0m, 延長 L=50m	喜界島港・志戸桶地区						74	-	
	A02-019	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	地方	-	道路	幅員 D=5.0m, 延長 L=40m	喜界島港・志戸桶地区						1	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-020	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	地方	-	防波堤(沖)	延長 L=105m	喜界島港・浦原地区						1,225	-	
	A02-021	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	地方	-	航路(-2.0m)	水深 D=2.0m, 面積 A=3,500 m ²	喜界島港・浦原地区						50	-	
	A02-022	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	地方	-	泊地(-2.0m)	水深 D=2.0m, 面積 A=2,000 m ²	喜界島港・浦原地区						50	-	
	A02-023	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	地方	-	港湾施設用地	面積 A=2,700m ²	喜界島港・志戸桶地区						12	-	
												小計						9,401	
												合計						9,401	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
鹿児島県土木部港湾空港課において評価を実施	令和4年3月
	公表の方法
	県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・定期船等が接岸する港の防波堤整備により、安全性及び利便性の向上が図られた。（整備中） ・加計呂麻港の岸壁整備により、荷役の安全性及び利便性の向上が図られた。（整備中） ・奄美各港において、防波堤や物揚場等の整備により、台風等における避難船舶の安全性が向上した。（整備中）
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き、港湾の安全・安心な利用を図るため、外郭施設や係留施設等の整備を推進する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	定期船が利用する岸壁のうち、荷役稼働率97.5%以上を満足する岸壁数	
	最終目標値	1岸壁
	最終実績値	1岸壁
2	加計呂麻島において鉱産物等を安全に取り扱える岸壁数	
	最終目標値	1岸壁
	最終実績値	0岸壁
・事業費や施工時期の見直し，関係者との調整等に伴い，当初想定した事業進捗が図られなかったため。		
3	異常時に安全に係留できる船隻数	
	最終目標値	72隻
	最終実績値	72隻